

Main Plaza, Cathedral and Court House,
San Antonio, Texas.

環大西洋の 思想交流

における社会的なもの
と信仰的なものとの葛藤と変容

神戸大学国際文化科学研究科 国際文化科学研究推進センター 研究プロジェクト

2015 年度 第 2 回研究会

プロジェクトメンバー：
井上弘貴（代表者）、清川祥恵、秋田真吾、野谷啓二

日時： **2016 年 3 月 28 日（月）午後 1 時～**

場所： 国際文化科学研究科 A 棟 4 階 **中会議室（A403）**

報告 1： **井上 弘貴**（神戸大学国際文化科学研究科 准教授）

「ハル・ハウスとメキシコ系移民——戦間期のソーシャル・セトルメントの再検討」

報告 2： **藤井 達夫** 氏（早稲田大学 非常勤講師）

「利益か、それとも価値か——サンアントニオにおける

コミュニティ・オーガナイズングと信仰の問題」

研究会概要：

当プロジェクトは、英国とアメリカ合衆国を中心とした環大西洋世界を舞台に 19 世紀の半ばから勃興してきた社会改革思想の諸潮流がもつダイナミズムを、産業化の進展とキリスト教内部の変革というふたつの側面から歴史的に描き出すことを目的とする。

本研究会では、井上報告は戦間期、藤井報告は 20 世紀後半を対象時期とし、どちらも合衆国のヒスパニック移民のコミュニティについて、ソーシャル・セトルメントのようなコミュニティ・ビルディングとコミュニティ・オーガナイズングとが、どこまで共通点を有し、どの点で相違するのかを明らかにした上で、このふたつの運動形態のなかで宗教（とくにカトリシズム）が果たしている役割について検討するものである。

問い合わせ先： 井上 弘貴 hiro_inouye@port.kobe-u.ac.jp